

広報きたうら

平成元年5・6月号 No.285

発行 北浦村役場 編集 調査企画室
茨城県行方郡北浦村山田2564-10 ☎311-17☎0291-5-2111(代)



村民憲章

- 心身を鍛え教養を深め
文化の香り高い村をつくりましょう。
- 北浦の湖水と緑豊かな環境を大切にし
美しく清潔な村をつくりましょう。
- 時間ときまりを守り
秩序ある平和な村をつくりましょう。

- お互いに助け合いまごころの通う
明るい村をつくりましょう。
- 仕事に誇りをもち
活力ある村をつくりましょう。

村の花／きく、村の木／ひのき、村の鳥／うぐいす

北浦村農業振興計画

基本調査報告会

シリーズふるさとを考える

北浦村商工会青年部

空散一今年は個人防除で

在宅老人福祉事業

スポーツの結果

ヨイシヨ。慣れないスコップさば
きでカンナを植えています。

要小学校子ども会育成会では、毎
年子どもと父母たちが道路沿いや公
共施設などにカンナを植えています。

夏を過ぎるころ、美しいカンナ口
ードが出来上がります。

花を植える



北浦村農業振興計画 基本調査報告書

目標は——
魅力ある農業
住みよい農村の建設

方法は——
人づくり・土づくり
道づくり・村づくり



▲ 農業振興センターと農家の協力で北浦型農業の発展を(中村恵一・農業振興センター長・写真右)

魅力ある農業・住みよい農村の建設を目指す、「北浦村農業振興計画」の基本調査報告書が出来上がり、六月二日、その報告説明会が北浦村役場で開催されました。

この報告書は、農業研究センターの研究員をはじめとして村内の農業後継者のみなさんも含めた「北浦村農業振興研究委員会」が二年がかりでまとめたもので、今後の北浦村農業の方向性や農村環境などを提言したものとなっています。

多品目総合産地化をめざして

北浦村で生産される農産物の種類はおよそ六十種。まさに一年を通していろいろな穀物や野菜が生産されています。これは、北浦村の地勢や市場などさまざまな要因が上げられますが、特に野菜に関しては各組合を軸に消費者のニーズに適した生産が行われてきた結果と言えます。

しかし、これはともすると他産地に比較して特産品に欠けるという一面もみせてきました。「北浦みつば」以外では市場におけるブランド商品が見当たらず、産地としての統一性が弱く、商品そのものの価値も多様という状態が続いていました。

このような北浦農業の実態のなかで、今回の北浦村農業振興計画基本報告書は、今後の北浦農業を展開するにはどのような方策が望ましいかを提言しています。

提言では、これまで弱点ともいわれた多品種栽培を高度に発展させ、結果として「多品目総合産地」化を目標として掲げました。これは、他の特産品型の農業に比べると市場対応や流通の面でより難しい取り組みを必要とするものですが、村全体としての北浦農業を展開するには最も有効な方策となります。

新しい北浦型農業づくりは

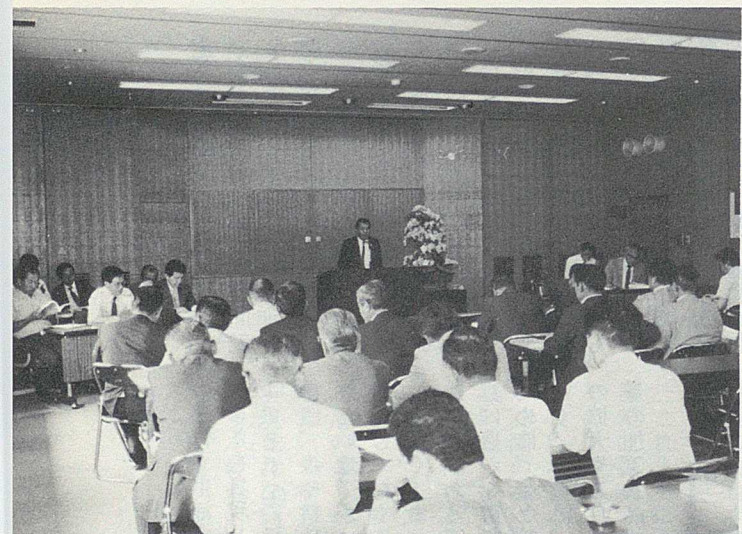
提言では新しい北浦型農業の総合目標として「魅力ある農業・住みよい農村の建設」を上げています。魅力ある農業、住みよい農村の建設とはどのようなしたら可能なのでしょうか。

提言では具体的な展開方向として①野菜などによる従来から進められてきた銘柄産地形成②葉タバコ、カンショなどによる土地利用型畑作農業

の確立③消費者と提携した減農薬栽培・有機農業による産直を示しています。

また、所得目標も三年後に一〇%、八年後に五〇%の増加を、労働時間についても現在の三千時間から八年後には二千時間の節減を目標としています。この実現については、個々の農家はもちろん役場、農協、普及所など広範囲な協力体制が必要となりますが、その基本戦略として提言は

基本調査報告会



階層別農家1戸当たりの農業所得目標

階層区分		農業従事者	1戸当たりの平均農業所得		
			現在 昭62	3年後 平成2	8年後 平成7
A B C D	2世代型専業農家	3 専従者と補助者	万円	万円	万円
	1世代型専業農家	2 専従者	480	528	720
	高齢者型農家	2 高齢者夫婦	360	396	540
	主婦型農家	1 主婦	...	100~150	200
			...	...	100~150

一、人づくり
二、土づくり
三、道づくり
四、村づくり

の四つの柱を中心に据えています。

その具体的内容は次のとおりとなっています。

◎人づくりは

村内には、すでに野菜、葉

一世紀にふさわしい魅力ある農業は、①村の中で一人ひと

りが助け合うこと、生産者・労働者が手をつなぐことのできる文化的な農業者によって担われ、②農協や諸組織・集落などの強調による力を活かす、かつ、将来を見通すことのできる自立した農民のリーダーによって導かれ、③自治体や農協等の自発的な職員の発想に基づく組織的支援によってきづかれる。そのためには、自発的・組織的な諸活動によって、それぞれの場にふさわしい人びとを育てていくことが重要である。

◎「土づくり」は

土づくりは、魅力ある北浦型農業の土台づくりであり、生産性の高い農地として維持管理していくことが、農業生産を安定した形で発展させていくための基本条件である。そのためには、まず、①化学肥料や農薬多用に依存した農業を見直し、耕種農家と畜産農家との連体による有機物の確保・利用、輪作、深耕等の合理的な技術を意識的に追求し、良質・多収の土づくりをめざす。また、②農地は基本的な生産手段であり、生産性の高い農地として改良していくことが重要であり、農道や耕地条件の整備、土地利用の集団化、交換耕作等の推進をはかる。さらに、③多労的な農作業のやり方を見直し合理的な農作業への改善、省力的な生産手段としての農業機械・施設、あるいは付加価値を高めるための諸施設・企画の導入等をはかる。

こうした土づくり・農業の土台づくりの事業は、それぞれの農家が自覚的に取り組むことを基本とすべきである。しかし、多額の投資を伴うので、個別農家の対応には自ずから限界がある。したがって農業施設・機械の共同利用などのような農家の間の連帯あるいは農地の集団化・交換耕作・土壌分析室などのように自治体や農協等による組織的支援が必要になる。

◎「道づくり」は

各地帯の各農家が、それぞれの条件に適合させてつくった多品目の農畜産物を消費者や市場に対応させて、できるだけ有利に販売できる体制をつくっていくことが道づくりである。

新しい北浦型農業をより安

定させ、ますます発展させていくために、まず①産地間競争が激化する中で、多品目の農畜産物販売の分散・競合的な市場対応を見直し、生産・品質・規格などの統一、検査・出荷などの協定・一元集荷・多元販売などによって、市場に対する出荷組織力を高めていく。

また、②消費者と直接提携をして、安全で、うまくて、相互に納得できる価格で供給する食べ物づくりとして、減農薬栽培・有機農業などに取り組み。また、農業問題は生産者の健康問題としても大切である。さらに、③農畜産物加工への取り組みと、その販売拡大をはかっていく。

◎「村づくり」は——魅力ある農業・住みよい農村づくりは、農家だけの力ではなく、すべての村民が知恵と力を出し合って、はじめて前進する。当村の経済発展は基幹産業である農業の発展に大きく影響されるものであり、村の商工業との連帯によって「ゆとりのある豊かな農村生活の確立」を達成することができる。

当面の組織づくりは

農村で生活することのすばらしさを具現していくためには、まず①村の中の豊かな自然、森や耕地の緑、汚染されない地下水・川・湖等とを戻し、村ぐるみで維持管理していく。また、②生活や農業にかかわる冗費を省いて、真に豊かな農村生活を楽しむために、金と時間を消費していく。さらに、③輸入農産物の拡大やこれを原料とする大量の加工食品が、豊村の食生活を歪めており、すべての農民が連帯をして、安全で豊かな農畜産物の村内自給・健康な食生活の確立をめざす。こうした、村づくりのポイントは、旧来からの集落機能を見直して強化するとともに、村民一人ひとりのパーソナリティやアイデアを活かすことにあり、村びとが力をあわせて村外の人達とも連帯して、魅力ある農業・住みよい農村を築いていくことである。

このような、人づくり、土づくり、道づくり、村づくりを具体的に実践していくための組織として、提言は「農業振興センター」「農業振興推進協議会」「市場対応協議会」などの設置を目標としている。農業振興センターについては、先の四月に中村先生をセンター長に設置が行われましたが、このセンターは、農業指導者の育成、各種情報の提供など多彩な役割を担うことによって実質的な農業振興計画の推進母体となるものです。

農業振興センター発足

今年四月に発足した北浦村農業振興センターは、中堅農業者（楯頭）を非常勤職員とするなどユニークな組織となっています。

現時点ではスタートしたばかりですが、将来的には次のような業務を進めて行きます。

- ①農業振興計画の原案づくり及び農業振興推進協議会の事務局②市場対応・営農指導のための協議会事務局③農業経営、主要作物栽培技術指導員④農業後継者、生産組織等の育成指導及び経営技術発表会⑤農業経営、栽培技術、農地（ほ場条件、賃貸条件等）、労働力等の情報処理提供⑥記録・農家簿記による自己診断、青色申告の励行⑦農地の土壌検査、診断（農家自らできる方法）⑧主要作物の栽培試験、展示（土づくり含む）⑨後継者、若妻グループ、生産組織による研究会⑩農村生活の改善活動の推進

このような業務を推進して行くためには、生産・販売、技術・経営、生活等の専門的

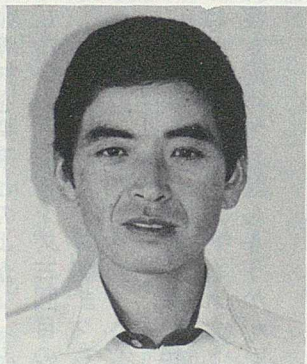
村ぐるみの取り組み

今回の北浦村農業振興計画基本調査報告書は、約十年後の北浦農業を見通して提言されたわけですが、これらの諸計画の実行主体はあくまでもみなさんです。

これまでも各種の農業振興策は提案されてきました。その中には、ある程度の成果を収めたものもあるわけですが計画のみに終始してしまつたケースも多くあります。

村の農業は専業農業者のみの問題ではありません。サラリーマンの兼業農家も商店も各層の人々がそれぞれの分野において考え協力しなければ実現されないものです。

多くの人が参加して初めてこの提言が生きてくるのです。



堀吉雄さん(行戸)

農業者の総意で新しい農業づくりを

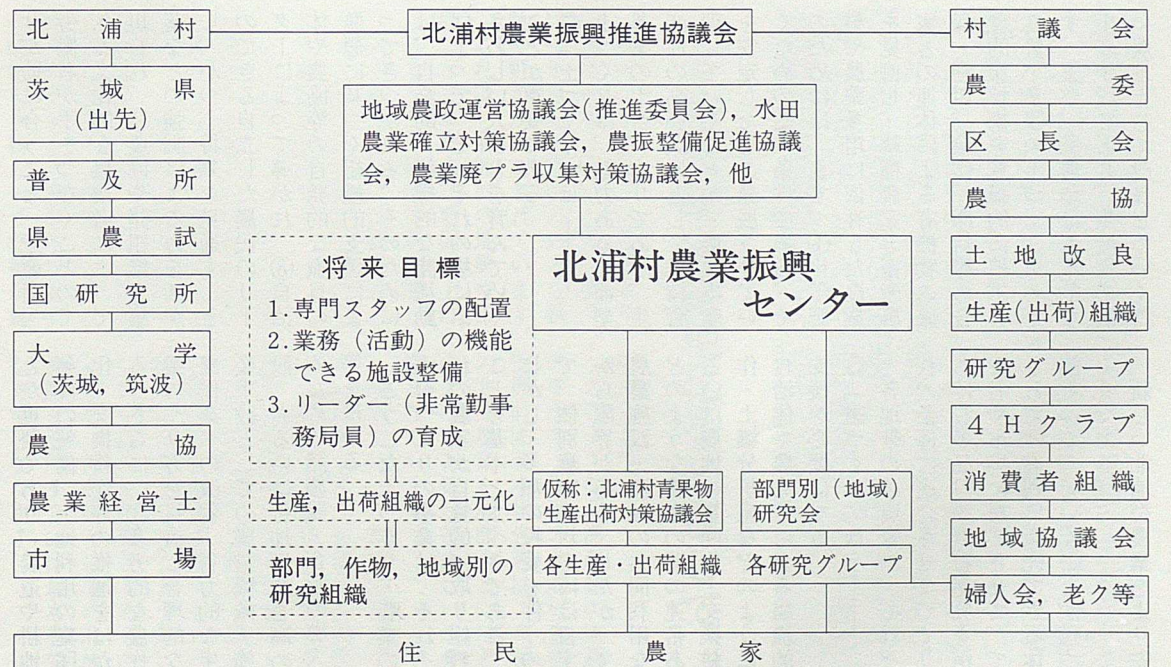
これまでの北浦農業と今後の北浦農業を考えたとき、全体の統一あるいは一本化ということがよく言われます。しかし、それを具体的に進めるには今までの違った展開が必要になってきます。まず、この方向づけに重



横田富成さん(小貫)

検査体制の一本化を早急に

まず何を重点的に行っていくかが大切だと思います。作物にしてもどんな作物を作っているのか、どのような販売していくかと言った問題があると思います。そして、もっとも重要なことは検査体制を一本化して行くことだと思います。現在、農協や各組合でまちまちの検査をしており、その検査員も農協以外は、その日によって違うということもあります。これでは北浦という統一したイメージで販売することが出来ないのではないのでしょうか。農業振興センターにはこのような横断的な組織づくりの方向付けを行っていただきたいと思っています。また、いろいろな方面に北浦村の農業の特徴を発揮できる、将来的な方策を検討する機関としてのセンターの充実を期待したいですね。





北浦村を将来どのような「ふるさと」にしたいか。シリーズ三回目の今回は、商工会青年部の方々に集まっていたいただきました。

この座談会前に開かれた青年部の会議では、熱心な議論が行われたとか。その内容も含めてお話しをうかがいました。

アイデアあります

——きょうは、商工会青年部の方々においでいただきまして、まず、現在考えていることなどを含めて、自己紹介をお願いします。

小沢 小沢です。仕事は建築業をしています。村については、住んで良かったと思えるような村、他に誇れるような村になって行ければと日ごろ考えています。

猪瀬 次木の猪瀬です。家電部の方々にお願いしたいと、電気工事関係の仕事をしていましたが、まず、現在考えていることなどを含めて、自己紹介をお願いします。

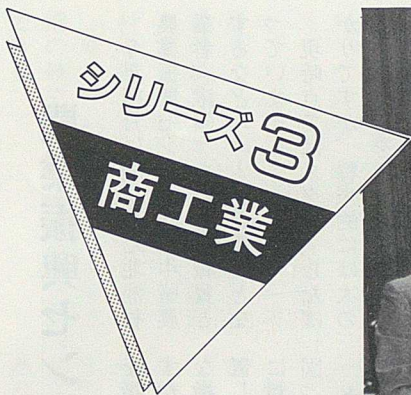
小沢 小沢です。仕事は建築業をしています。村については、住んで良かったと思えるような村、他に誇れるような村になって行ければと日ごろ考えています。

ふるさとを考える

“まず、

魅力のある村づくりを”

土子 先輩方と同じ建築業をしている土子です。商工会青年部という中では、現在若手後継者育成や村の地域発展をどう取り組んで行くかという話しが話題となっていますが、私のような個人あるいは商店にしても、より大きな建築会



社とかお店が進出している時代の中で、今後どう仕事をしていくかが一番考えているところですね。

——今日は建築関係の方、商工の工の方が多くなりましたね。

小沢 現在、商工会では小売店などの後継者が少ないんです。

郡司 また、世代変わりしたばかりで、子どもが学校にいつているなどのケースもあります。

——そういう理由ですか。

ところで、この座談会前に集会所が持たれ、いろいろな意見が出たということで、ここにその要約した文書もいただきましたが、なかなか面白い意見があったようですね。

小沢 そうですね。全てが実

現可能かどうかは別にして、みんなが真剣に検討したことばかりです。また、それぞれの人が本心にいろいろな意見を持っていたのには驚きました。みなさん北浦に愛着を感じて考えてくれているんだと思いますでしたね。



▲ 商店街：活性化を図るには…

土子 いずれも細部まで具体的に考えてはいませんが、芸術やスポーツの面などでたくさんさんの意見が出ました。一億円の絵画とか彫刻などは話題性では面白いと思います。また、郷土資料館などでもいいですね。

郡司 野球場なども他の町村は多いのでしょうか。

郡司 そうですね。どうしても他と較べてしまうとところがあるんじゃないでしょうか。小沢 キャンプ場というのは、どちらかと言うと子どもたちの意見ですね。今の子どもたちにとっては、家ではない所で友達と一緒に食事を作ったり遊ぶということがとても楽

出席者
小沢 三郎さん
石間 守さん
猪瀬 隆司さん
郡司 栄さん
土子 克雄さん

商工青年部が

提案する

ふるさと創生

活用方法

- 文化・芸術・社会福祉
- ①一億円の絵画を購入し役場ロビーに飾る
- ②岡本太郎に一億円の彫刻を作ってもらう
- ③郷土資料館の建設
- ④芸術の里を作り芸術家に北浦に住んでもらう
- ⑤コンサートホールを作る
- ⑥野球ナイター設備
- ⑦村民プールを作る
- ⑧キャンプ場を作る
- ⑨マリンスポーツ基地を作る
- ⑩サイクリングロードを作る
- ⑪老人センター「北浦荘」の整備
- ⑫農村公園の整備
- 観光
- ⑬村のCOMMERシャルビデオを作りTVで放映してもらう



小沢三郎さん(37歳)
建築業・繁昌

最近、水を使ったスポーツやイベントが盛んになってきていますから。

猪瀬 せっかく湖があるんですから何も利用しないというのはもったいないですよ。

また、観光の面になってしまいましたが、コマーシャルビデオや映画、歌、イベントなども積極的に展開して行ったほうが良いのではないのでしょうか。

小沢 それから、思いのほか北浦では季節感を感じるのが少ないんですね。例えば春になって桜の花見をしようとしても北浦村に桜の名所がありませんよね。夏も北浦があるわりには、何にも利用されていない気がするんです。そういうものが身近にないというのは寂しい気がしますね。

——そういうものを第三セクターで、ということですか。小沢 これは、何をやるにしてもある程度責任の所在ということがあると思うんです。その場合、行政だけでは難しい問題も出てきますから第三セクターにしたほうが、活動しやすい面もあるんじゃないかということです。



猪瀬隆司さん(35歳)
家電・電気工事業・次木

——そうですね。これらを全部行政で行うというのは大変ですからね。それぞれの分野で協力し合っている方がスムーズに事業が運ぶかもし

れません。石間 一大イベントというのは、ここに例として花火と書いてありますが、こういうイベントに一億円全部を使うというわけにも行かないでしょうね。

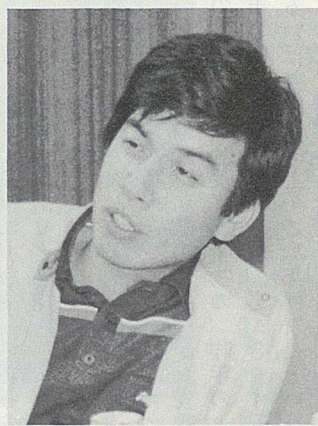
後継者育成と観光面に力を

——さて、後継者の育成という話に進めてみますと、事業として三つほど出されていますが。小沢 そうですね。これまでの具体案と少し趣が変わりますが、やはり人づくりは大変

で行く人たちがそれぞれに言いたいことを言うてばらばらでは結局まとまるものもまとまりませんよね。それには、みんなが一同に集まれる施設とかも欲しいし、そういうまとまりを中心に動いていけば横のつながりもできるし、何らかの前進もあるんじゃないでしょうか。

——職業を越えた連帯ということですね。小沢 そうです。要は、それぞれの分野で一生懸命やっている人たちが集まれば、おのずと何か生まれるのではないのでしょうか。

——研修生を派遣するといふのもいいプランですよ。土子 そうですね。建築の分野でも今はツーバイ法など新しい建築方法が注目されていますし、あるところでは募集して本場のカナダに研修に行



郡司 栄さん(34歳)
建築業・繁昌

かせるという話も聞いています。そういうものも勉強したいと思ってるんですが、

郡司 今、一般の人の方が建築などは詳しいくらいで勉強するのが大変ですよ。

土子 全額を出すというのではなくとも、そういう制度があれば参加する人も多いのではないのでしょうか。

——商工に限らず農業など

でもいいですよ。

小沢 今は何の分野でも勉強をして行かなければ置いていかれてしまいますからね。

——ところで、その他として四つほど案が出されていますが、工場団地の造成というの、やはり、人口の増加とか経済的に活気のある地域になって欲しいという意味で

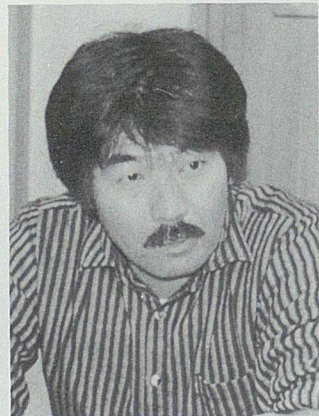
小沢 そうですね。

——あと、後継者の集団見合いというのがありますが。小沢 商工会でも本場に嫁さんがいないんですよ。

土子 まじめな人ほど難しいですね。小沢 結局、来る方から見れば魅力がないんですね。商工業自体もそうですし、地域的な魅力というのもあると思います。

郡司 われわれの場合は、サラーマンみたいな勤務時間がつきりしているわけではありませんが、そのあたりも問題があるかもしれません。

——農業でも後継者の結婚問題というのがよく話されていますが、北浦村の後継者全体が嫁不足という問題に直面



石間 守さん(37歳)
溶接業・繁昌



土子克雄さん(30歳)
建築業・繁昌

している一面もあるのかもしれないですね。それは、個人の問題は一先ずおいても、さきほど小沢さんが言われた地域的な魅力の問題もあるかもしれないですね。その辺を今後どう考えて行くかということですね。——ところで時間も経過してきましたので最後にお一人づつ、これまでの話し合いを通じて一言づつお願いします。小沢 やはり、形のないもの、永続性のあるものが一番だとおもいます。研修制度や後継者の問題ですね。形のあるものだと、自然を利用したあるいは自然とふれあえる施設などが良いと思います。そして子どもたちが北浦にはこんなものもあるんだと誇りに思えるものがあるといいですね。土子 後継者育成の問題を一

②北浦の映画を作ってもらう

③「北浦」の演歌を作ってもらい有名人に歌ってもらう

④一大イベントを実施する「花火大会」

⑤第三セクターの観光会社を作る

⑥全国に農産物の通信販売をする

⑦村報を都会の家庭に送付する

⑧忍野屋敷を作る

⑨飛行船による北浦の散歩

⑩東京原宿でパレードをする

⑪若手後継者育成

——目的——

ふるさと創生は、まずひとづくり、つまり北浦村の将来をなう若手後継者の養成を図り地域経済の振興に寄与する

——事業——

①後継者研修センターを設ける教育事業

②海外・国内に研修生を派遣する事業

③後継者の自主的な研修を助成する事業

□その他

①工場団地の造成

②後継者集団見合い

③通学路整備

④巨大なイルミネーションを作る「空から見てもわかる」

番考えていただきたいですね。あとは、北浦という湖を利用した観光などに力を入れていけばいいんじゃないでしょうか。

郡司 どれにでも言えるんですが、大切なことは中途半端にやらないことですね。何をやるにしても最後まで考えた上で実行していった方がいいと思います。

石間 他の市町村にアピールできる施設やものがあるといいですね。そうすれば人があつまって活気も出てくるんじゃないでしょうか。

猪瀬 そうですね。研修なども大切ですが、要は議論なりプランばかりで頭でっかちにならないよう、つまり、地に足のついた実践的なことを着実に実行していけば良いのではないかと思います。

——ありがとうございます。



今年度は個人防除を
お願いします
農薬空中散布
は行いません

病害虫防除協議会

見直を決定

農薬の空中散布は、昭和三十九年から二十五年間実施してきました。その間、食糧確保、農家の労力軽減など、空散は生産性の向上に大きな役割を果たしてきました。

しかし、昭和四十年代後半からの米過剰に伴う転作などの強化、食・管及び農産物の市場開放などの農政不安、あるいは谷津田などの地形条件による散布むら等、農家の空散にたいする評価は大きく低下してきました。

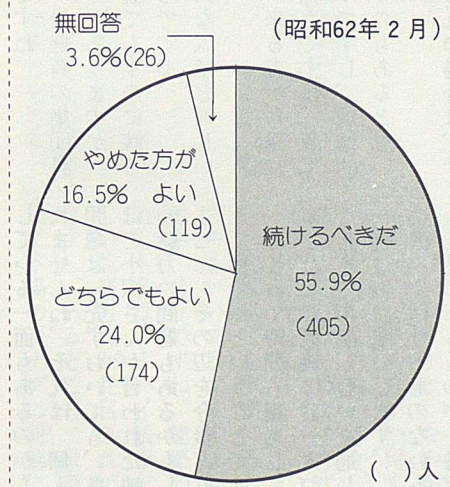
また、例年空散の適期防除の指摘をうけておりましたが、病虫害の発生は、気象条件、ほ場条件及び施肥管理などにより相違するため、一斉防除にあたっては「適期」の判断が大変難しい状況にあります。昨年のように空散後長雨が続きますと効果が不十分であったということもあります。

このため、病害虫防除協議会では空散のあり方を見直す

今後の対応は

協議会では、①空散（共同防除）は、大方の賛成が必要 ②適期防除の困難性 ③転作物との競合 ④地形、風等による

空散の今後のあり方 アンケート調査結果

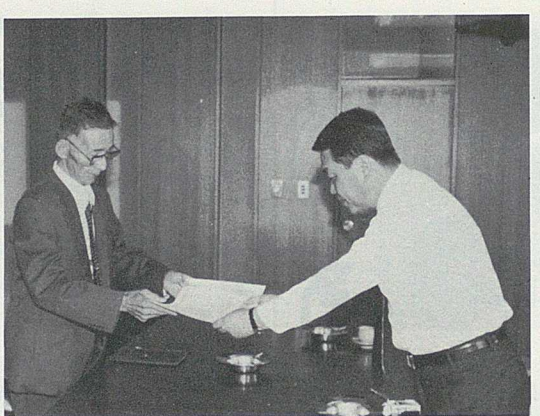


消費者の お米の選び方

- 一、おいしいから
- 二、価格が適正
- 三、内容がはつきりして安心
- 四、安全性の面で信頼している
- 五、有名な産地名柄
- 六、お店の人にすすめられる

- 一、病害虫発生状況調査、予察の周知
- 二、病害虫の雑草等の特性との農薬等の適性使用方法資料提供
- 三、効果的な防除及び稲作管理資料提供、講習会の推進
- 四、防除員（相談員）の設置調査研究の推進
- 五、防除機（粉剤用）の配置（農協各支所二・三機）
- 六、有機栽培米の普及推進（生産者と消費者の連携）

中根の小林さん 社協に百万円を寄付



▲小林さんには村長から感謝状が贈られました

北浦村の福祉に役立てて下さいと、中根の小林秀雄さん（七十九歳）が村の社会福祉協議会に百万円の寄付をして下さいました。

善意のお金は五月二日、村長室において小林さんから社会福祉協議会長である磯山村長に直接手渡されました。

小林さんは、長年農業普及員として北浦村を始め行方郡の農業の発展に尽力されてきました。特に戦後の食糧増産期には、各地区に合った生産指導を緻密に行ったことで知られています。また、日本の代表として遠くインドネシアにまで農業指導に赴いたこともあります。

最近では菊づくりの第一人者としてご存じの方も多いと思いますが、この指導もボランティアで行っていました。

送られた寄付金は、社会福祉協議会のボランティア基金や小口貸付基金など福祉向上に向けた資金に活用させていただきます。

第2土曜日と 第4土曜日 役場は休み となります

第2土曜日と第4土曜日を休日とする官庁の「土曜閉庁」は、国においては1月から県においては5月から実施されていますが、役場では6月から土曜閉庁が実施されています。

この日は、役場をはじめ、県庁、総合事務所、保健所、土木事務所、土地改良、農業改良普及所、警察署などの県の機関、税務署、法務局、裁判所などの国の機関もすべて休みになります。

なお、学校関係など今までどおりのところもありますので、くわしくはご利用のところにお問い合わせ下さい。

みなさまのご理解ご協力をお願いいたします。

村で行っている 在宅老人福祉事業



独居老人に対する サービス

- ①愛の定期便→独居老人の安否確認をかね隔日に牛乳一本を配付します。
- ③給食サービス→独居老人に対して月一回給食サービスを行います。
- ③火災速知器の設置→独居老人の家庭に火災速知器を設置します。

家庭 奉仕員制度

身体障害者やねたき老人等の家庭で、所得に応じた費用負担で家庭奉仕員の派遣がうけられます。

短中期 保護事業

在宅のねたき老人等を介護している家庭で、社会的あるいは私的理由で介護できない場合、一定期間（一週間、二か月）の間、施設で介護してもらう制度です。（有料）

介護慰労金

在宅のねたき老人を介護している者に対して三万円の慰労金が支給されます。

くらしの健康相談

幼児の股関節脱臼

先天性股関節脱臼（以下先天股脱と略す）はなぜか日本人に多く発症率は出生児の1%前後と言われています。男子よりも女子に多く、その

股関節脱臼予防のワンポイントアドバイス

◎おむつのあて方



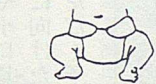
おへそが見えるように小さくあてましょう。

◎おむつの替え方



足をつかんだり、ひっぱりあげることはやめましょう。

◎おむつカバーは



あしの動きをさまたげないようにしましょう。

◎衣服は



足が自由に広げられるものを選びましょう。

◎抱っこ



足をひろげて抱っこやおんぶをしましょう。

◎おんぶ



極端に言えば先天性というよりも後天性と言うほうが適當かもしれません。
 ①赤ちゃんの足はカエルのように曲げて広がっています。その形に左右差が見られます。
 ②痛みはないが股関節の開きが悪く脱臼側の足は短く見えます。
 ③幼児期では歩き始めが遅れ歩行障害も見られます。
 以上のような症状があるといふ先天性股脱が疑われますが、レントゲン線による診断が最も確実です。

治療は装具を付けて整復、固定が一般的ですが、発見が遅れると回復が長引き大変です。早期発見早期治療が大切です。
 前述のように先天股脱は後天的要素の方が多いので心がけ次第でかなりの予防ができるわけです。（図のよう）におむつも股だけにして無理に足を伸ばしたり、足をしめつけないように注意し、足をできるだけ自由に動かせるようにして育てるよう心がけると共に、乳児期の健診をきちんと受けておくことが大切です。

のびのび育て



高柳早由里ちゃんとおかあさんの君子さん（長野江）

はじめての子どもです。今はさかんに動き回っています。名前はお父さんと一緒に考えて付けました。素直で元気な明るい子に育ってほしいですね。

（股ぐらの部分）の開き具合が悪く、脱臼の疑いで整形外科医の受診を勧められる赤ちゃんが既に通院治療をしている赤ちゃんと比べて、ここ二、三年の北浦村での発症率は出生児の二%前後（平均の約二倍）となっています。

健康テレホンサービス 0298-22-2600

8月	7月
プール熱	赤面恐怖症を治すコツ
歯と指しゃぶり	足がむくんだら
虫垂炎(もうちよう)について	老眼と遠視
耳鳴りについて	日焼け
汗と皮膚病	婦人の不正出血
ピルと避妊	クーラーで気をつける事

スポーツの結果

□春季庭球大会
 優勝 小沢・松本組
 準優勝 武内・佐藤組
 第三位 堀・根本組
 第四位 高柳・根本組
 第五位 額賀・池田組
 第六位 斉藤・額賀組
 □第22回野球大会
 優勝 スネークス

優勝したスネークスのみなさん



準優勝 武田キラーズ
 第三位 コンドル・農協
 最優秀選手 掛田和夫・内田俊夫・渡辺力男・谷川善弘
 □第12回バドミントン大会
 女子シングルス
 優勝 小沢由美子
 準優勝 斉藤久美子
 第三位 池田和代
 男子シングルス
 優勝 高柳 勲
 準優勝 大和田幸二
 第三位 松金 昇
 女子ダブルス
 優勝 小沢由美子・池田和代
 準優勝 小林和子・斉藤久美子
 第三位 有馬友子・石崎文子
 男子ダブルス
 優勝 小沢忠喜・高野勲
 準優勝 小貫正秀・小沼保夫
 第三位 大和田進一・飯島守
 大和田幸二・久米恒雄
 混合ダブルス
 優勝 池田和代・高橋勲
 準優勝 有馬友子・飯島守

映像に残る「茨城の戦後史」ビデオテープを販売

茨城県では昭和二十三年から広報映画の制作を行ってきましたが、その四十年を記念して、このほど茨城県の四十年の歩みを振り返るビデオテープを制作しました。
 内容はプロジェクト編、生活・文化編、産業編の三編に分かれており、貴重な映像も多く収録されています。
 なお、このテープは一般にも販売します。

人口の動き

住民基本台帳調(5月末)

人口	11,153
男	5,556
女	5,597
世帯数	2,452
転入	18
転出	19
出生	3
死亡	9

第三位 斉藤久美子・大和田幸二
 小沼智子・仲居善仁

□価格 六千五百円（消費税込み）送料三百円
 □テープ規格 原則としてVHS 九十分
 □申し込み問い合わせ先 茨城県広報研究会事務局（茨城県庁広報課内）
 ☎〇二九二（二一）八一
 一内線二五三四、二五三五
 このビデオは注文生産です。代金は申し込みと同時に振り込みをお願いします。
 □振込口座 常陽銀行県庁支店普通預金No.518271
 茨城県広報研究会
 □申し込み締切 八月三十一日（テープは九月下旬にお引渡しします）

庁内人事

六月一日付（内は旧職）
 保健衛生課・主幹 高橋千枝子（住民課・主幹）
 建設課・主幹 真家きみ江（税務課・主幹）
 産業課・主幹 早川チエ（保健衛生課・主幹）
 建設課・主幹 河野 稔（産業課・主幹）
 税務課・主幹 山野弘子（農業委員会事務

善意

○北浦中学校へ パーソナルコンピューター一台・児玉昭典さん（内宿）から

局・主幹）
 農業委員会事務局・主幹 方波見初江（住民課・主幹）
 保健衛生課・主幹 藤崎弘子（建設課・主幹）
 産業課・主幹 小沢忠喜（教育委員会・主事）
 出納室・主事 小島文子（保健衛生課・主事）
 住民課・主事 飯島ますみ（総務課・主事）
 男庭常一（産業課・主事）
 住民課・主事 斉藤恵子（産業課・主事）
 総務課・主事 井川美佐子（出納室・主事）
 教育委員会・主事 森坂正行（産業課・主事）
 産業課・主事 勢司浩之（建設課・主事）
 産業課・主事 横瀬浩司（住民課・主事）

参議院議員 通常選挙が 行われます

投票日

7月23日(日)

(午前7時から午後6時)

選挙区議員選挙

比例代表議員選挙

☐投票用紙

選挙区選出議員選挙 …… 黄色

比例代表 …… 白色

☐不在者投票

7月5日(水)から7月22日

(土)まで。午前8時30分から
午後5時まで。役場2階選挙管理
委員会(総務課内)へ印鑑を持参
しておいでください。問い合わせ
先(☎5-2111 内線216)

北浦村選挙管理委員会